

## ■ インフルエンザの置き土産

あれほど騒がれた新型インフルエンザも最近では、全く鳴りを潜めています。しかし、その置き土産ともいえるべき皮膚病が子供を蝕んでいます。その病名は『接触皮膚炎』です。

保育園や、学校、デパート、コンビニ、映画館など公共の施設では、いまだに消毒用の洗浄剤を置いています。元々、子供は皮脂の分泌が少なく、乾燥しやすいのに、アルコール分の含まれる洗浄剤で1日に何度も手を消毒しているので、手は皮脂が少なくなり、乾燥してきます。乾燥すると痒くなるので、掻いてしまいます。掻くことによって、皮膚に傷がつくと今度は洗浄剤が刺激物として作用し、炎症をおこし、さらに痒みが増します。皮膚は赤くただれてジクジクしてきます。『接触皮膚炎』の完成です。

お子さんの手を見てあげてください。手が悲鳴を挙げていませんか。

平成 22 年 6 月分原稿

はらクリニック 原 徹